



入寮時に実習生が持参してくる手荷物！女性実習生でも、スーツケース2つと大きな手荷物は実習生の常識？

あじけん通信

2012 September
VOL.57

株式会社ティビィシー国際外語学院
企画・編集 澁谷 健司

9月に入っても連日の真夏日。しかし、朝や夕方には涼しい風が吹いてくるようになってきています。1日の気温の差が大きくなり始めるこの時期、睡眠不足を訴える実習生の皆さんも少なくありません。その為、朝は少し眠そうな実習生が目立ちます。そんな中ですが、いざ授業が始まれば、教室からは日本語学習に励む元気な声が聞こえてきています！

あじけんスコープ VOL.2 ~入寮時の食材~



主食となるお米と調味料（1人分）、肉・野菜等の食材（約3人分）。これらを、入寮時に予め準備させて頂くことで、自炊生活がスムーズに始められ、翌日からの講習が円滑にスタート出来るようサポートしています。食材の選定では、なるべく安価で栄養のバランスの取れた食品の提供を心がけています。また、費用は実習生の自己負担とすることで、日本の物価や生活費等に関する金銭感覚を1日も早く身に付けてもらえるよう配慮しています。ただし、食材は2日~3日分しか用意していないため、来日3日目くらいからは、実習生の皆さんは、自分たちの力で買い物をするようになります。このように、自炊生活を通して、日本の生活に1日も早く慣れることも、研修センターでの大切な日本語学習の一環となっています。

今月の実習生

今月の実習生は、先日、急な腹痛のため夜間に救急車で病院に搬送された趙娜（チョウ・ナ）さんを紹介します。午前1時という真夜中の出来事でしたが、同室の実習生の助けを借り、当センターの緊急マニュアル通りに迅速に行動できたことで、すぐに病院で診察を受けることが出来ました。診断の結果は「急性胃腸炎」でしたが、すばやく適切な処置が受けられたことで、入院などもせずに、その日の午前4時頃には、寮に帰ってくる事が出来ました。

今回アジ研でも初めて救急車を要請しましたが、幸い大事には至らず、私たちもホッしました。趙さんはその後も元気に日本語講習を続け、9/10（月）に無事、研修センターを巣立っていきました。



夜中に我慢できないほどお腹が痛くなったので、寮の友達が管理人さんに連絡してくれました。管理人さんはすぐに救急車を呼んでくれました。救急車の中や病院でも、お腹が痛くて頭はパニック状態でしたが、センターの方が、ずっと付き添ってくれて、親切にお世話をしてくれました。私はセンターの皆さんのご好意に感動しました。

親から離れて、外国に住んで病気になってしまいましたが、先生方が、良く面倒をみてくれたので、私はそれ程寂しくなく、怖さも感じませんでした。先生方に心から感謝しています。皆さんどうもありがとうございました。

あじけん流日本語授業

今月のあじけん流日本語授業は、「異文化交流」をテーマに、実習生の皆さんが母国の料理を紹介し合った発表会形式の授業の様子をレポートします。

今回の授業では、中国人実習生とベトナム人実習生の皆さんが、お互いの国の郷土料理の作り方を発表し合いました。発表用の掲示資料も自作しました。資料には自分たちが実際に作った料理の写真を貼り付ける等、工夫も凝らされていました。母国の文化の一部を日本人の先生や他の国の実習生に紹介するとあって、モチベーションも高まり、準備の段階から発表まで、皆さんとても熱心に取り組み、発表会は大変盛り上がりしました。



グループで発表した中国人実習生のみなさん



ジェスチャーを交えながら一生懸命発表するベトナム人実習生・TIENG（ティエン）さん



向かって左から韓芹芹さん・成燕敲さん・趙媛さん

私たちは、鳥の手羽元の醤油煮を紹介しました。あまり上手く発表できませんでしたが、楽しかったです。（韓芹芹）
とても緊張しました。でも、楽しかったです。（成燕敲）

自分たちが実際に作った料理を紹介したので、とても楽しいと思いました。とてもおいしいですから、皆さんも作ってみてください。（趙媛）